

コメント

1. インフルエンザ

定点当り1.14人と急増し、流行開始の基準とされている定点当り1人を超えました。気温の低い日が続くと予想されていますので、今後の動向に注意が必要です。

2. 水痘

定点当り3.79人と増加しています。安芸区8.5人、佐伯区7.0人と特に多く、中区3.7人となっています。

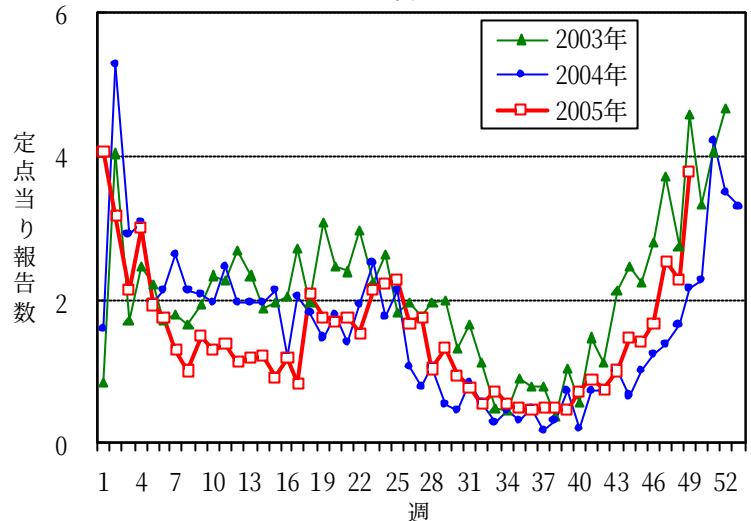
3. RSウイルス感染症

定点当り2.08人とやや増加しており、3週続けて増加しています。

4. 感染性胃腸炎

定点当り13.3人と増加しており、4週続けて増加しています。中区では20.0人と特に多く、安芸区19.5人、南区17.0人、佐伯区16.7人、東区13.7人、安佐北区11.7人となっています。

水痘



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ 注2)	42	1.14	0.53	↑	麻疹 注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.12		流行性耳下腺炎	81	3.38	1.02	⇒
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	38	1.58	1.78	⇐	RSウイルス 感染症	50	2.08		⇐
感染性胃腸炎	320	13.33	14.07	⇐	急性出血性 結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	91	3.79	2.86	⇒	流行性角結膜炎	9	1.13	1.10	
手足口病	3	0.13	0.42		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.22		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.14	
突発性発しん	14	0.58	0.91		マイコプラズマ 肺炎	3	0.43	0.63	
百日咳	-	-	0.05		クラミジア肺炎 注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1.2以上の増減
増減	⇒	⇐	前週と比較しておおむね 1.15～2の増減
微増減	⇐	⇒	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減
横ばい	⇐	⇒	ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

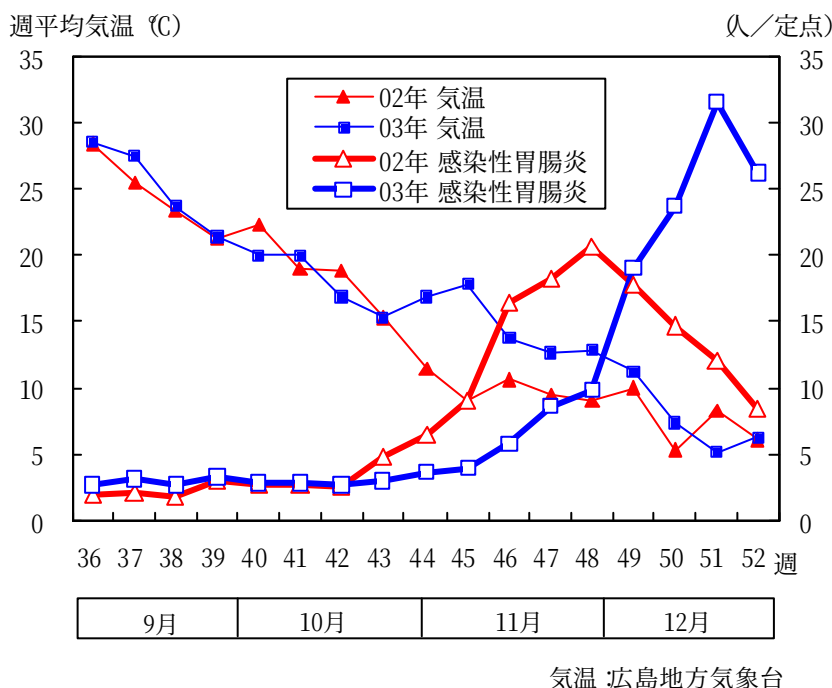
			A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎 咽頭結膜熱 インフルエンザ (注1)																				成人麻しん クラミジア肺炎 (注3) マイコプラズマ 肺炎 無菌性髄膜炎 細菌性髄膜炎 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎 RSウイルス 感染症 流行性耳下腺炎 麻しん(注2) ヘルパンギーナ 風しん 百日咳 突発性発しん 伝染性紅斑 手足口病 水痘 感染性胃腸炎									
報告数	広島市	第45週	3	2	24	91	34	-	2	16	-	-	2	-	55	9	-	8	-	1	-	-	-									
		第46週	24	5	25	115	40	-	2	17	1	-	2	-	55	10	-	5	-	2	-	-	-									
		第47週	27	3	42	161	61	4	3	13	2	-	1	-	87	19	-	11	1	1	-	-	-									
		第48週	20	2	56	251	55	4	2	22	1	-	1	-	83	36	-	10	-	-	1	-	-									
		第49週	42	4	38	320	91	3	4	14	-	-	-	-	81	50	1	9	-	2	3	-	-									
定点当り	広島市	第45週	0.08	0.08	1.00	3.79	1.42	-	0.08	0.67	-	-	0.08	-	2.29	0.38	-	1.00	-	0.14	-	-	-									
		第46週	0.65	0.21	1.04	4.79	1.67	-	0.08	0.71	0.04	-	0.08	-	2.29	0.42	-	0.63	-	-	0.29	-	-									
		第47週	0.73	0.13	1.75	6.71	2.54	0.17	0.13	0.54	0.08	-	0.04	-	3.63	0.79	-	1.38	0.14	0.14	-	-	-									
		第48週	0.54	0.08	2.33	10.46	2.29	0.17	0.08	0.92	0.04	-	0.04	-	3.46	1.50	-	1.25	-	-	0.14	-	-									
	全国	第49週	1.14	0.17	1.58	13.33	3.79	0.13	0.17	0.58	-	-	-	-	3.38	2.08	0.13	1.13	-	0.29	0.43	-	-									
第47週		0.24	0.27	1.38	7.87	1.55	0.27	0.17	0.65	0.01	-	0.10	-	1.31	0.02	0.69	-	0.02	0.42	0.01	-	-										
		第48週	0.41	0.35	1.66	11.75	1.90	0.21	0.19	0.66	0.01	-	0.09	-	1.53	0.02	0.87	0.01	0.02	0.38	0.01	-										

注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

【参考】気温の低下と感染性胃腸炎 — 9月から12月にかけての発生動向 (2002/2003年, 広島市)



毎年、秋から冬にかけて気温が低下してくると、様々な感染症が増加してきます。

感染性胃腸炎もその一つで、例年気温が低くなる11月頃から患者が増加し、12月にピークを迎えます。

2001年以降の9月～12月にかけての患者報告数の推移をみると、特に2002年に患者の増加が早く始まっています (第47週週報参照)。

左のグラフは、2002年と2003年のこの時期の気温と患者数の変化を示しています。

2002年は10月下旬(第43週)から11月上旬(第45週)にかけて大きく気温が低下し、それとともに患者数が増加し、例年より早く第48週にピークを迎えました。

2003年は11月上旬は比較的温暖でしたが、11月中旬(第46週)ごろから気温が低下し、患者の増加が始まりました。12月に入ると気温の低下が著しくなり、それとともに患者が急増し、ピークは2002年より2003年の方が大きくなっています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第49週 (12月5日～12月11日)